

# 広報みはま



夏の野菜いっぱい採れたよ！

Aug.2009

主な記事

- ハートフル対話2009を開催 P2～
- 治太やんBOX・治太やんメール P6～
- 議会ニュース P8

8  
No.463

» 語ろう、美浜の明日を！

# 健康と子育ての

## ハートフル対話2009を開催しました。

町では、町民の皆さんと町政について語り合う座談会「ハートフル対話2009」を5月28日から7月2日にかけて町内の6会場で10回開催し、348人の方にご参加をいただきました。



ハートフル対話は、山口町長と町民の皆さんがまちづくりについて意見交換を行うことで、町政について一層のご理解と関心を持っていただくとともに、各会場で伺ったご意見をまちづくりを生かすことを目的に、平成11年から毎年開催しています。

今回のハートフル対話では、昨年度多くのご意見をいただいた「健康」と「子育て」に関する町の現状と施策と、地球温暖化対策に貢献する原子力発電について説明した後、参加された方からの質問や意見に対して、山口町長が説明や回答を行いました。

今回の広報では、対話の中でいただいたご質問やご意見の一部をご紹介します。



医療費について

問 町の医療費が高い原因は、なぜですか？

答 現在その原因を分析中ですが、現段階で分かっていることは、循環器疾患により病院にかかっている人が多いということです。

また、高齢の方は、病気が重度化してから医者にかかるケースが多く、高額な医療費を支払っている人が多くみられます。

町では、今後も健診を通して軽度の段階で受診されるよう広報していきたいと思います。

福祉サービスについて

問 健常高齢者への福祉サービスはないのですか？

答 町では、民生児童委員協議会や社会福祉協議会、老人クラブと連携し、「お達者セミナー」や「介護予防教室」などを実施しています。一人暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯には、毎週火・木曜日の昼食を配達する「配食サービス」を実施していますので、ご希望の方は町健康福祉課(☎32-6704)までご連絡をお願いいたします。

また、今後高齢者の皆様に楽しんで集える場所を提供できるよう、現在いろいろな教室を計画しています。

ので、良いアイデアがありましたら、町保健福祉センターはあとびあ(☎32-3111)までご連絡をお願いします。

健診について

問 健診を受診していない人への対応はどうされているのですか？

答 対象となる全ての方に受診希望調査を送付し、提出がない方へは再調査、それでも回答がない方については、各集落の保健事業推進員が直接家に伺い提出いただいています。

「受診はしない」と意思表示をされている方へは、健診の内容を説明し、極力受診いただくようお願いしています。

問 特定健診の受診率が上がったのはいいですが、その後のフォローはどうしているのですか？

答 町では、3〜4週間後に受診者へ健診結果を郵送し、必要に応じて保健師や看護師、栄養士が保健指導を行っています。保健指導から6か月後には、再評価し改善に向けて相談や健康指導を行い、健診を受けるだけとしないようにしています。

ガン検診の結果、要検査となった方には、精密検査を受けるまで電話で連絡をしています。昨年度は10人の方がガンと分かりました。

学童保育について

問 学童保育は耳地区で実施しているようですが、他では実施しないのですか？

答 当初町内の3か所で実施する予定でしたが、事前調査をした結果、利用希望者は全地区で4人だったため、児童館を兼ねた文化会館でしか実施していません。

しかし、学校が長期休暇となる夏休み期間中は、町体育センターでも実施を予定しています。希望者へは、日程が決まり次第お知らせします。

子育て支援センターについて

問 子どもと子育て支援センターに遊びに行きたいのですが、平日のみの開館であるため、仕事上なかなか行くことができません。土曜日の開館を検討していただけますか？

答 子育て支援センターでは、今年度から土・日曜日に各集落センターなどを利用し行事を行っていますので、ぜひご利用いただきたいと思えます。

土曜日の開館については、今後検討していきたいと思えます。

問 子育て支援センターのような親子が集える施設をもっと増やすことは出来ませんか？

答 本町の規模で、いくつも設置することは難しいと考えます。

しかし、子育て支援センターでは、民生児童委員協議会の皆様と一緒に、各集落に向いて子どもを見守る「ミニさくらんぼ」を年間20回実施していますので、ぜひご利用ください。日時や会場など、詳しくは、子育て支援センター(☎32-0192)へお問い合わせください。

また、お子さんを見ることはできませんが「はあとびあ」には、子どもたちが遊べる「すこやか広場」を設置していますので、併せてご利用ください。



↑元気に遊ぶ子どもたち(ミニさくらんぼ)

## 結婚サポートについて

**問** 独身の方に対して、出会いの場を作るべきではないでしょうか？

**答** 町では、県の「若者出会い交流応援事業」を活用して、若者たちに新たな出会い・交流の場を提供し、結婚に繋げていく事業を実施しています。

昨年度は、美浜町若者出会い交流応援事業実行委員会の協力を得て、敦賀市内の結婚式場を使用し出会い交流イベントを開催しました。

結果、男女各20人の方が参加され、1組のペア及び1組の男女グループができ、その後もグループの輪が広がっていると聞いています。

この他、美浜町婦人福祉協議会では、結婚相談事業や結婚情報交換事業等も実施しています。

今後町では、若者の意見を聞きながら、出会い・交流の場を提供できるように検討していきたいと思えます。

## 遊具について

**問** 子どもの遊び場が少ないと思えます。町内の公園や総合運動公園の遊具を充実してくれませんか？

**答** ここ数年来のハートフル対話でも遊具設置の要望は、数多くいただいています。

大々的な施設を作る計画はありませんが、子どもが遊ぶ遊具の設置を進めていきたいと思えます。

## 子育て支援の財源について

**問** 本年度子育て支援に係る事業をたくさん計画してくださいでしたが、そのお金はどのように確保しているのですか？

**答** 子育て支援策として創設した「すくすく美浜つ子サポート事業」は、町民の皆様の税金のほか、主に原子力発電所の立地市町に国から交付される「電源立地地域対策交付金」を充当しています。本年度の予算は、約6千万円となっています。

## 原子力発電所について

**問** 美浜発電所1号機は、営業運転開始から39年目を迎えています。

原子力発電は、地球温暖化対策の面からも期待されてきていますが、1号機は出力も小さいので、安全性の面で優れた新しい発電所を建設すべきではないでしょうか？

**答** 原子力発電所では、経年的な劣化現象を事前に把握し、事故やトラブルを未然に防ぐことが重要とされています。新しい検査制度により、電力事業者が取り組む高経年化対策について国の関与が強められてきており、新しい検査制度が導入されプラットフォームごとの特性に応じた保全活動が行われていくことで、更に経年変化に対する安全性は高まっていくものと考えています。

1号機を廃炉にして新たなプラントを建設すべきとのことですが、電源開発や電源構成などは、今後の電力需給の見通しや地球温暖化対策への対応、燃料価格の動向、更には広域的な対応など様々な要因を考慮したうえで電力事業者が計画していくものです。

町では、高経年化対策の充実や運転期間を明確にすることなどを、事業者はもとより国に対しても強く要請しています。

## 定住対策について

**問** 山東地区は、国道27号美浜東バイパスが完成し、舞鶴若狭自動車道もできると聞いています。

敦賀市へ行くにも良い立地条件と言えることから、大規模な住宅地を整備する必要があるのではないのでしょうか？

**答** 山東地区は、住宅地として適当な場所であることは認識しています。

しかし、以前、町の住宅政策で各集落到土地の提供者がいれば町が補助しようと呼びかけましたが、当時は、2.3集落から話があったものの現実とならなかつた経緯があります。

仮に住宅地を開発することになったとしても、山東地区は、簡易水道で給水し、集落排水で処理しているため、「上水・下水の能力不足」が大きな問題となつてきます。

ご指摘の通り、交通事情が変わってきているため、今後はいろいろな条件を考慮しながら考えていきたいと思えます。

## 国道27号線について

**問** 今年3月に美浜東バイパスが開通してから、国道27号線の車の交通量が多くなり、Aコープ前に横断歩道があるものの、なかなか渡る事ができません。

押しボタン式の信号機を設置してくれませんか？

**答** ご指摘の通り車の交通量が増え、横断することが困難な状態にあると思えます。

早急に警察や公安委員会に要望したいと思えます。



↑信号の設置要望がある横断歩道